

● 薬剤部より

がんの薬物療法は、抗がん剤の投与量や投与方法が複雑で、さらに副作用の予防あるいは軽減するための薬剤を組み合わせる必要があります。治療は、原則入院で行いますが、希望により患者さんの状況や薬物療法の種類によっては、外来で行うことも出来ます。

その場合、患者さんがリラックスして安全に治療を行えるように、当院では、専用の外来化学療法室を備えています。

薬剤部では、患者さんが安心して薬物療法が受けられるようにサポートしています。不安なこと、心配なこと、疑問などありましたら、お気軽にご相談ください。



お問い合わせ：  **082-296-0110** 榎殿順記念病院 薬剤師
月・火・水・金 8:30~17:00 / 木・土 8:30~12:00

◆ 心肺蘇生講習会の紹介 ～ いざという時のために！ 心肺蘇生法を学ぶ ～

「心肺蘇生法・AED（自動体外式除細動器）」の定期研修会が先月開催されました。

当院では、万が一の状況でも平素から迅速かつ適切に対応できるよう定期的に院内研修が行われています。心肺停止に陥ると除細動が1分遅れるごとに救命率は7～10%ずつ下がります。AEDが届くまでは質の高い心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）が代替し、AED装着後は除細動を行い、この間のスピードがとても重要です。この研修会では、多職種が参加し、心肺停止者を発見した際の救命に迅速に対応できるよう、すべての職員が模擬体験を通じて習得し学んでいます。

